



# 伊豆半島ジオパークのESDは地域の意識変化に役立つのか

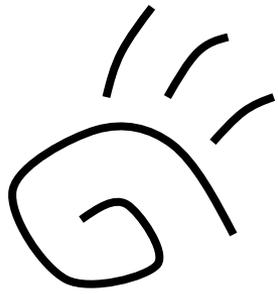
---

2019/12/21

伊豆半島ジオパーク推進協議会

鈴木雄介



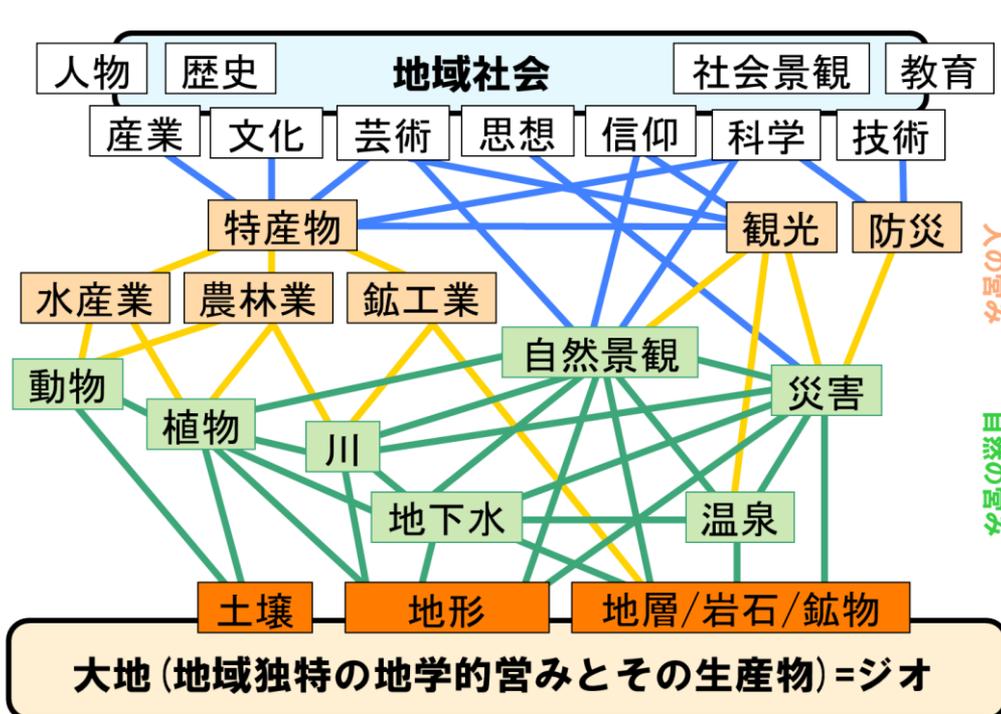


# ジオパークというプログラム

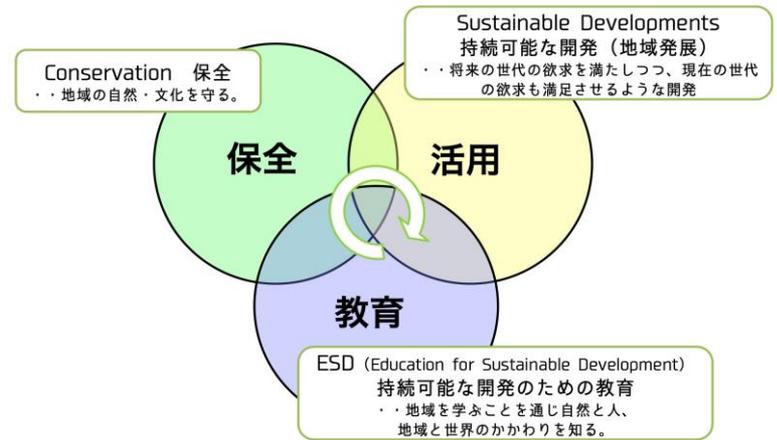
ユネスコ世界ジオパーク 41ヶ国 147地域

日本ジオパーク 44地域 (うち9地域が世界ジオパーク)

「ユネスコ世界ジオパーク」は、地層、地形、火山、断層など、地質学的な遺産を保護し、研究に活用するとともに、自然と人間とのかかわりを理解する場所として整備し、科学教育や防災教育の場とするほか、新たな観光資源として地域の振興に生かすことを目的とした事業。  
(文部科学省)



人の営み  
自然の営み



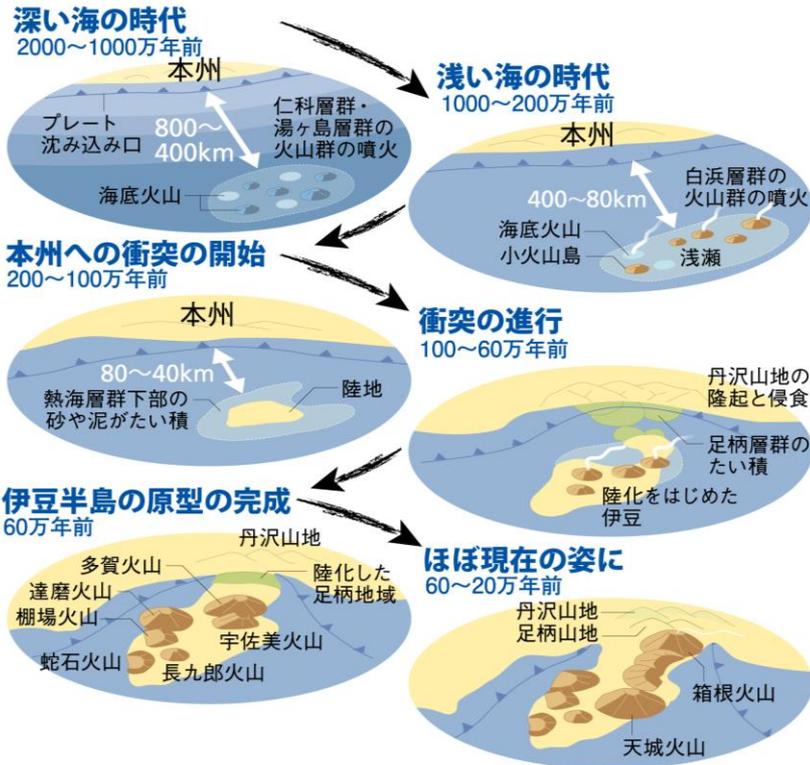
地球をシステムとしてとらえ、持続可能な地球と地域社会を考える。自然と人のかかわりを知ること、  
「地域ならではの」を可視化するとともに、守るべきものごと、気をつけるべきものごとを知る





# 伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク

南の海で生まれた火山島がフィリピン海プレートのうごきとともに北上、日本列島に衝突してできた半島。現在進行形の衝突は多様な地形と環境を作り出し、小さな半島の中に多様な生物・文化多様性を形作る。長く続く火山活動が作り出す温泉も魅力。



構成市町村数：15

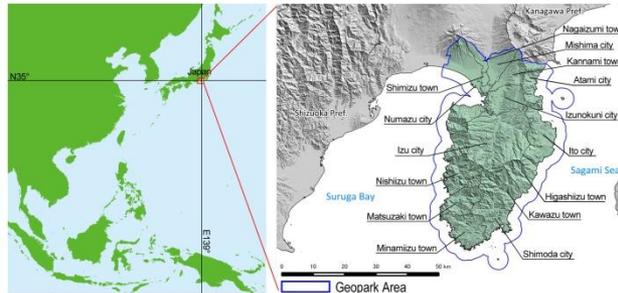
面積：1,585km<sup>2</sup>

総人口：669,585人

推計人口：567,970人（2030年） 85%

456,413人（2045年） 68%

運営主体は伊豆半島周辺の15市町、観光関連団体、商工団体、交通事業者、建設関連、金融機関、ガイド団体等からなる協議会





# 学校教育

身近にある自然や産業、文化のつながりを探して「まちのステキ」を見直す  
地域の文化、歴史、産業、特産品、動植物、地形、地質、災害などをつなぐ視点  
を持ってもらいたい。



毎日登下校の途中で  
見ているものから

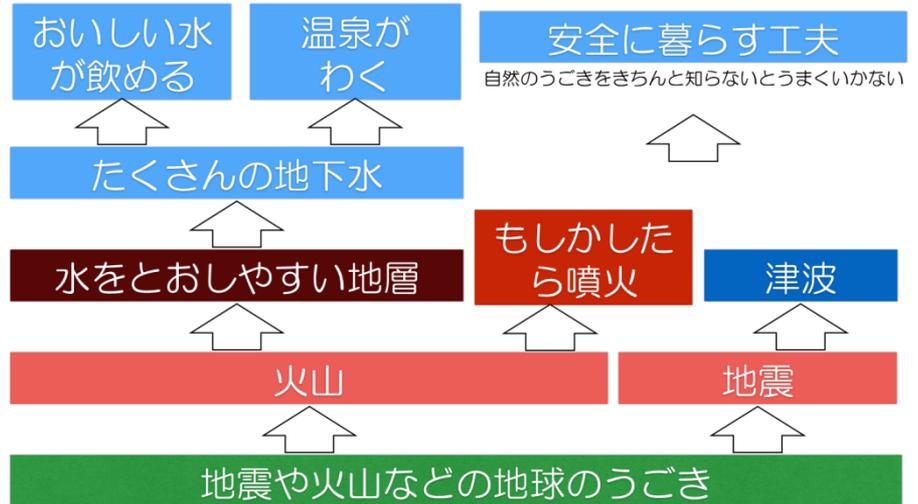


講義や実験・観察を  
通じて



現地で確かめたり  
新たな疑問にぶつ  
かったり

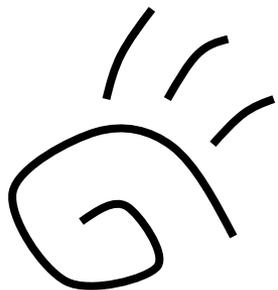
自然と人とのかかわりをきちんと知って  
楽しくかしく暮らす地域 = ジオパーク



## アウトプットの例

自然は心地よい環境や観光資源を提供する一方、自然災害の原因でもある。  
どのようにバランスをとって暮らしていくか。





# 学校教育

つながりへの気づきから、その中から見える課題の発見、解決のための行動へ。

小学校

自然と人の暮らしのつながりに関する気づき

中学校

課題の発見。課題解決へのアイデア出し

高校・大学

課題解決のための技術開発・行動

→地域社会との連携・協働



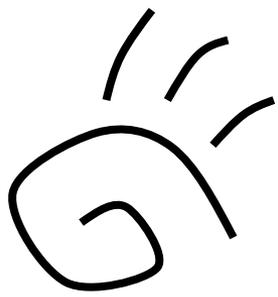
## 静岡県立韮山高校

世界的な問題になっている海洋ゴミ  
その中でも気がつきにくいマイクロプラスチックに着目。

海と川の両方でサンプリングし、伊豆半島のまわりのマイクロプラスチックはどこから来るのか、  
どういうものが多いかを調べる。まずは現状を知らない、何ができるのかわからない

採水にあたっては、ダイビングショップや漁協などから多くの協力をいただいている。





# 学校教育から地域の活動へ

学びの成果をリーフレットやポスター、ツアーなどの形でアウトプット。

**丹那断層公園**

**伊豆北**  
伊豆半島 オパーク  
南から来た火山の贈り物

**写真集**  
火雷神社  
柿田川

RINGIRING! ジョジョット

このパンフレットは、観覧の場面に  
より作成しました。

**城ヶ崎海岸**  
小学生ジオツアー

大室山の噴火が作りだした大地。その上で暮らし・学ぶ子ども  
たちが気づいたことをみなさまに少しでも見せたい。

※ ツアーは富戸小学校の総合学習の一環として行います。

2018年  
2月15日(木) 9:30~ 受付開始 9:00

- 集合・解散：城ヶ崎海岸 いかりが根駐車場
- 対象者：海岸線を歩く60分間のツアーにご参加いただける方 (先着40名)
- 参加費：無料
- ツアー内容：いかりが根駐車場→いかりが根→かんのん浜

参加者と子どもたちは5つのグループに分かれて9:30から5分おきに出発します。最後に出発するグループは9:55発ですので、出発までお待ちいただきます。あらかじめご了承ください。

**お申込み・問合せ**  
お申込・詳細はwebサイトから！  
【お問合せ】伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局  
TEL：0556-72-0520（平日8:30～17:00）  
MAIL：info@izugeopark.org  
http://izugeopark.org/2018/01/15/20180215futoho\_tour/  
※雨天中止は前日16時以降、上記webサイトにてご確認ください。

**アクセス**  
いかりが根駐車場はあまり広くありません。できるだけお知り合いの方と一緒に乗り合わせいただくか、公共交通をご利用いただきお祈りください。  
→いかりが根駐車場の地図はこちら  
・伊豆急行線「城ヶ崎海岸駅」から徒歩約20分  
・東海バス「ルネッサ城ヶ崎」バス停から徒歩約10分

主催：  
伊東市立富戸小学校  
伊豆半島ジオパーク推進協議会

海洋を利用したトレイル（徒歩道）を歩きますので、運動靴など歩きやすい履装でお越しください。  
※雨天はクレーンション着用を推奨いたします。

リーフレットは修学旅行先で配布しアンケートも実施、また地元観光施設などでも配布。

小学生が案内するツアーの募集には地元交通事業者も協力



学校での学びと地域の企業などが少しずつつながり始めた。

**GEO 自然豊かな伊豆の魅力**

伊豆の大地の物語

三島楽寿園  
三島楽寿園の近くの川にはなんと鶴が泳いでいました

水がきれいだからかな

楽寿園は地盤からの水が地面に湧き出ていて9cmほどの水たまりができていました(\*\_\*)

楽寿園はサラサラ溶岩という溶岩でできています

断層ははしているがはっている位置に鳥居がおけなかったから！

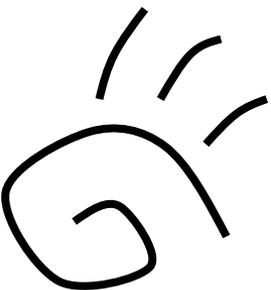
RINGIRING! ジョジョット

このパンフレットは、観覧の場面に  
より作成しました。

対島中学校（伊東市）

富戸小学校（伊東市）





# ふじのくにの女将 あげぼの会

## リーフレット「駿河湾をひもところ」

女将さんたちのおき情報がいっぱい

### 駿河湾をひもところ

ふじのくにの女将 あげぼの会 × 伊豆半島ジオパーク

駿河湾のお魚はどうしておいしいの？

1 海の近くでとれるから魚が新鮮

2 複数の川の水が流れ込んで、ミネラル豊富な海に

3 いろんな水が混ざっているからプランクトンの種類が多し

### 災害時であっても、できる限りのおもてなしを

安全に安心してご宿泊いただけるよう、安全対策の検討をしています。

#### 女将の地震初動マニュアル

2010年8月に完成させました。大きな地震に襲われたとき、お客様の安全を預かる女将が直面するであろう課題を整理し、「いつ」「何を」「どうすればよいか」そして、その「コツ」や「ポイント」は何かをまとめたものです。



#### ふじのくに女将's ジャパニーズニョッキ おすいとん

地域食材の地産地消と、災害時にも心まで温まる、ぬくもりのあるおもてなしの一品として、「おすいとん」を考案しました。



#### 女将の安心こころ包み

2017年3月、「女将の地震初動マニュアル」を進化させ、災害用キット「女将の安心こころ包み」を考案。有事の際のお見送りにお渡しするおもてなし袋の検討から始まりましたが、防災への備え意識の向上も目的としていますので、お宿の販売品や携行品として、防災意識の高揚に努めております。



ジオパークの活動やユネスコスクール（天城中学校）の活動などもきっかけになり、宿のおかみさんたちが集まり、学習会やフィールドワークを通じてリーフレットを制作。

- ・ 地産地消
- ・ 自然災害への備え
- ・ プラゴミ削減
- ・ フードロス削減

### 環境に優しいおもてなしを目指します

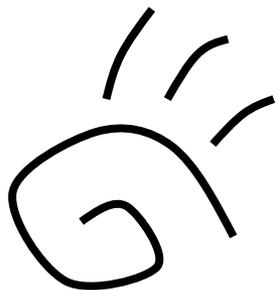
あげぼの会会員施設では、施設で使用するストロー等のプラスチックゴミ削減に取り組み、環境にも優しいおもてなしを目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が定めた「持続可能な開発目標」です。

- 12 つくる責任 つかう責任
- 14 海の豊かさを 守ろう
- 15 陸の豊かさも 守ろう





# 活動のすそ野を広げていくには

---

よりよい取り組みへ発展していくためにはすそ野を広げることが大切。多くの人が少しずつでも良いので動くことで、良い活動が生まれてくる。

- 学校教育については、担い手不足が課題
- 学校での活動などを通じて興味を持った企業や団体、個人等が少しずつ活動を進めてくださっている。
- 実は教育以外は「事業」としては行っておらず、自発的に参加してくれる人や団体との連携を重視。
- 活動に興味を持つ団体や個人はもともと自然や文化に興味を持った層
- なかなか地域全体のうごきにはならない。



- 地域の経済活動（伊豆の場合は観光）に寄与できるような見せ方を
- 取り組みに参加することが「お得」になるような仕組みづくりが必要

